

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	東洋医学臨床論2	講義	4	80	臨床医学総論、臨床医学各論 東洋医学概論、経絡経穴概論
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 3学年	森井健司 久保田 明美	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	鍼灸施術所での実務経験あり。その実務の性質上、臨床の場面での疾患鑑別には、当該科目で学ぶ知識は不可欠なものとなる。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
【教育目標】 以下の症候について、現代医学ならびに東洋医学的観点に立ち、国家試験解答に足る理解を深めることを目標とする。 第1節 疼痛(概要、頭痛、顔面痛、関節痛、頸頸腕痛、上肢痛、肩関節痛、腰下肢痛、腰痛、下肢痛、膝痛、胸痛、腹痛)、第4節その他の証候(顔面麻痺、歩行異常、口渇、出血傾向)、女性特有の証候(概説、月経異常、性器出血、帯下、不妊症、つわり、骨盤位、乳汁分泌不全)第6節小児特有の証候(概説、疳の虫、夜尿症、小児喘息)、第7節老年特有の証候(概説、認知症) 【行動目標】 ①本科目履修範囲内から作成された国家試験相当の難易度の多肢選択問題を正答率60%以上で解答できる。 ②治療の原理・原則を理解し、病態把握、鍼灸治療の適応・不適応、リスク管理、治療方針、処方例、治療、生活指導にいたるまでの臨床に必要な知識を習得する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
当科目の教科書は当校においては指定しておらず、よって、関連の深い授業科目の教科書の理解を深めるような形で授業が進みます。即ち、科目ごとに縦割りになった基礎知識を、応用的な科目間の横断的つながりを持った臨床知識へと昇華させる作業であると認識して、予習・復習・授業中のメモとりなどに努めることを勧めます。 また、常に受講範囲の国家試験問題を解くなどして自身の理解の把握や質問項目の抽出にも努めてください。					
教科書・参考書					
主題として取り扱う教科書は、東洋療法学校協会編「東洋医学臨床論」 参考として「新版 東洋医学概論」、「経絡経穴概論」、「臨床医学各論」、「臨床医学総論」 その他、学習に役立つ書籍等がある場合は都度紹介する。					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】 ※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 いったん配布した資料の再配布は、資源節約の観点から原則として行いません。なお、これに伴い配布した資料の控えと欠席者分の未配布資料については、当該年度内に限り職員室で保管いたします。授業中に受け取れなかった場合は担任もしくは授業担当者に授業時間外に相談して下さい。紛失等で再配布を希望する場合は、控えを貸出しますので当日中に自己負担で複製下さい。 【 受講科目受講時留意点 】 ●授業中の私語は他生徒への授業妨害になり得ることを自覚して慎んでください。 ●授業内容への質問は進行や他の学生との兼ね合いの都合上やむを得ず時間外に受付とさせてもらうことがあります。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100%	定期試験を前期と後期の最低2回実施。難易度は国家試験相当として、合格基準を正答率60%以上とする。問題形式は4者択一の他に、必要に応じて他の形式も出題することもある。			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		顔面麻痺①		/	久保田
2		顔面麻痺②		/	久保田
3		歩行障害①		/	久保田
4		歩行障害②		/	久保田
5		口渇①		/	久保田
6		口渇②		/	久保田
7		出血傾向①		/	久保田
8		出血傾向②		/	久保田
9		月経異常①		/	久保田
10		月経異常②		/	久保田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		性器出血①		/	久保田
12		性器出血②		/	久保田
13		帯下①		/	久保田
14		不妊症①		/	久保田
15		不妊症②		/	久保田
16		つわり①		/	久保田
17		試験対策		/	久保田
18		骨盤位①		/	久保田
19		骨盤位② 乳汁分泌不全①		/	久保田
20		乳汁分泌不全②		/	久保田
定期試験(授業外実施)					

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		疳の虫①		/	久保田
22		疳の虫②		/	久保田
23		夜尿症①		/	久保田
24		夜尿症②		/	久保田
25		小児喘息①		/	久保田
26		小児喘息②		/	久保田
27		認知症①		/	久保田
28		認知症②		/	久保田
29		復習		/	久保田
30		復習		/	久保田
定期試験(授業外実施)					

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		概説		/	森井
32		関節痛①		/	森井
33		関節痛②		/	森井
34		膝痛①		/	森井
35		膝痛②		/	森井
36		胸痛①		/	森井
37		胸痛②		/	森井
38		腹痛①		/	森井
39		腹痛②		/	森井
40		まとめ		/	森井
前期試験(授業外実施)					